

CSIS-GRIPS-RSIS ウェビナー 「アセアン諸国の持続的成長」 2021年3月30日
講演者への質問内容 日本語通訳版

講演者への質問の中には、モデレーターの Zoom Q&A チャット機能を通じて紹介されるものもあります。ご参考までに、以下の質問文とタイミングをご覧ください

リー博士(マレーシア)への質問 (1:24 頃)

「2020年、マレーシア(に加えタイやミャンマーなど他の ASEAN 加盟国)の民主化の後退が見られましたが、現在進んでいる脱工業化をどのように織り込んでいますか?」

アルダバ博士(フィリピン)への質問 (1:26 頃)

「グラフを見ると 2020年の外国直接投資は大きく減少しており、これはパンデミックによるものと理解できます。どのセクターが深刻な打撃を受けていますか?どのセクターに復元力があるのでしょうか?これらのセクターの復元力の要因は何ですか?」

リー博士(マレーシア)への質問 (1:28 頃)

「マレーシアが最も長く苦しんできた「中所得国の罠」の現象と、早すぎる脱工業化はどのような点で似ており、どのような点で違うのですか。早すぎる脱工業化は、「中所得国の罠」より、悪いのでしょうか?」

アーチャヌン博士(タイ)への質問 (1:29 頃)

「プラユット・チャオチャ政権はパンデミックにどのように対処し、同時にミャンマーのクーデターに介入しているのですか?タイ経済への負の影響の見通しをどう考えているのでしょうか?」

アルダバ博士(フィリピン)への質問 (1:30 頃)

「経済区や経済特区を国内市場にどう統合するのですか?経済区の恩恵を享受できない国内企業にとっての条件を平等にするための必要な財政政策/インセンティブの種類は何ですか?経済区の企業と国内経済を結ぶには、効率的な供給基盤が必要です。フィリピン政府は、どのようなプログラム/政策を推進して地場の能力構築支援を進めようとしているのですか?」

浦田教授(日本)への質問 (1:35 頃)

「COVID-19 大流行の危機の後、1997年7月から1998年12月のアジア金融危機のような大規模な経済危機が続く可能性についてどう思いますか?」「ASEAN と日本の国々は、特にこのような経済危機に対処するための経済計画があるのでしょうか。その内容はどのようなものなのでしょうか。こうした計画では、再びアジア経済を救うためにどのような措置を想定しているのですか?」